

大田区臨海エリアTDMプロジェクト

混雑を避けて道路を快適に走行しませんか
-交通集中の緩和に向けた交通需要マネジメント(TDM)の取り組みにご協力ください-

京浜大橋周辺地区における渋滞発生状況

事業所等を発着する車両と国道357号を通行する車両が連鎖的に渋滞を引き起こしています。

①事業所等から国道357号へアクセスする車両が集中



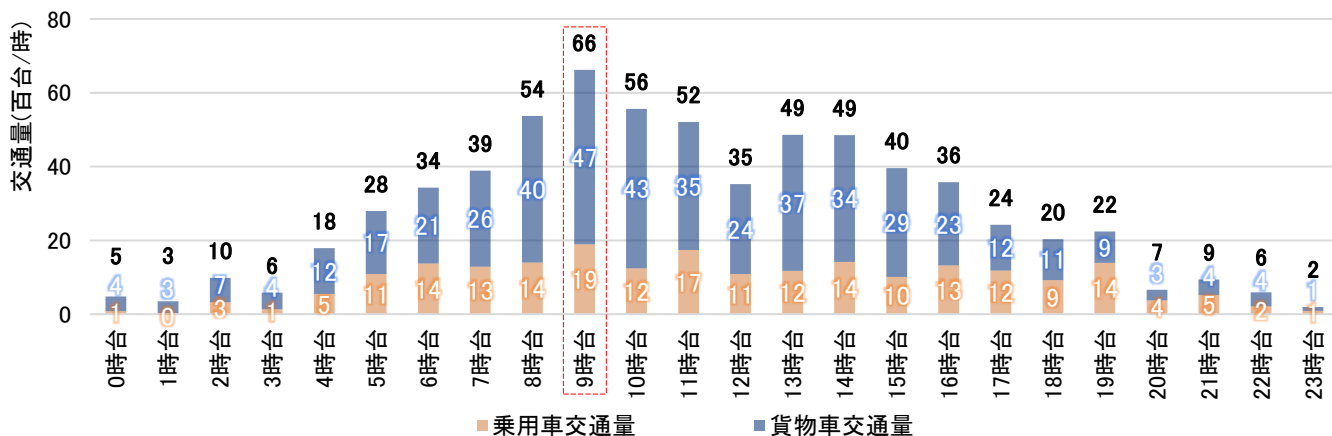
②国道357号を通行する車両と交錯し、各交差点で渋滞発生



③渋滞が隣接する交差点まで延伸し、大規模化



京浜大橋周辺地区を発着する自動車交通量



出典:平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査結果 京浜大橋周辺地区 (Bゾーン大田5,6,7,8区)のOD交通量を集計(有効数字2桁で丸めた値)

京浜大橋周辺地区の交通特性

- 京浜大橋周辺地区は、製造業や物流施設など多くの企業が立地・集積し、貨物車交通量が多い。
- 貨物車の交通量は**9時台**が多く、乗用車の交通に加えて貨物車が集中しており、大規模な渋滞が発生しやすい。

渋滞緩和の取り組みへのご協力をよろしくお願いします。 詳しくは裏面へ

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所・川崎国道事務所、大田区

TDM(交通需要マネジメント)とは？

車や道路の使い方を工夫する取り組みです。

TDM(交通需要マネジメント)は、車や道路の使い方の工夫(交通需要の調整)をすることで、道路の交通混雑を緩和する取り組みです。

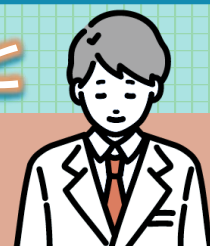
● 皆さま一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です ●

TDMは、地域全体で取り組むことによって、交通混雑を緩和し、効果をあげることができる取り組みです。



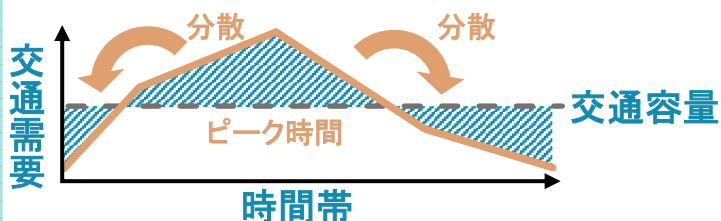
渋滞緩和のためにすぐに取り組めること

渋滞緩和のためにすぐに取り組める5つのメニューがあります。
可能な範囲でのご協力をお願いします。



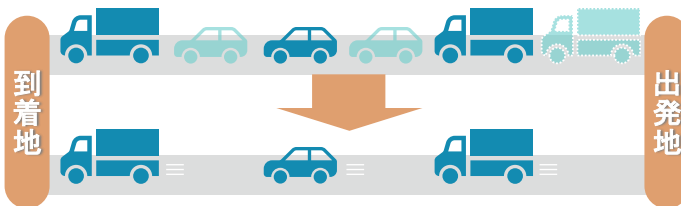
移動時間帯の変更

ピーク時間帯からずらして出荷・納品することで、渋滞緩和に寄与します。



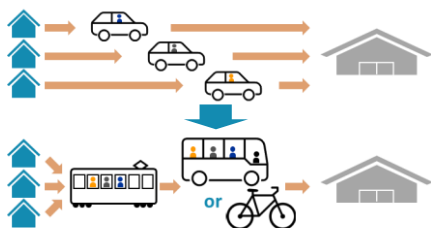
利用経路の変更

利用する経路を変更することで、交通が分散して渋滞緩和に寄与します。



移動手段の変更

マイカーから公共交通機関や自転車の利用へ変更することで、渋滞緩和に寄与します。



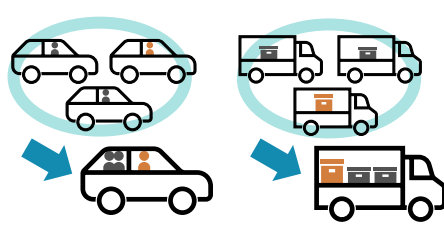
移動発生源の調整

テレワークやWEB会議等を促進することで、通勤による交通発生を削減できます。



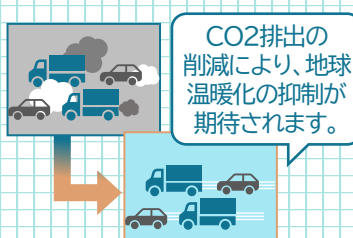
自動車の効率的利用

カーシェアリングの利用や共同集配送の導入により、渋滞緩和に寄与します。

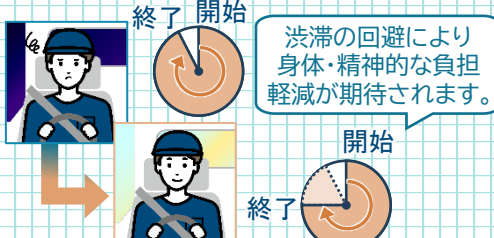


渋滞緩和に加えて、「CO2排出の削減」や「労働時間の改善」も期待されます。

CO2排出の削減



労働時間の改善



連携ホームページ



国土交通省 関東地方整備局
東京国道事務所

国土交通省 関東地方整備局
川崎国道事務所

大田区 都市計画課

東京都移動性向上委員会

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 計画課
東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎15階 ☎03-3512-9093